

各自治会の事業

各自治会では、防災・防犯、環境美化や、交流、親睦を図る各種レクリエーションなど様々な事業を実施しています。(自治会連合会HPより)

ふれあいサロン、親睦旅行、新年会、敬老記念品配布、ラジオ体操、ボーリング大会
お楽しみ子ども会、もちつき大会、ふれあいフェスタ、自治会夏祭り、防災訓練、夜警パトロール、町内清掃など



内牧地区の事業

内牧地区自治会連合会、内牧地区体育振興会、内牧支部社協の事業

婦人バレーボール・ソフトバレーボール大会
(対:18歳以上女性(学生除く))
少年少女球技大会
(対:小学生)
壮年ソフトボール大会
(対:男性40歳以上、女性20歳以上)
市民体育祭内牧地区大会
マラソン大会と歩こう会
(対:小・中・一般)
内牧支部社協ふれあい会食会
(対:78歳以上の単身・夫婦世帯)

市民センターを拠点とした地域づくりについて

中間発表資料

【会議の開催状況と主な意見】

第1回会議 10月2日(木)

諮問 市民センターを拠点とした地域づくりについて

協議事項

- ・今後のスケジュール及び会議の進め方(案)について
- ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して意見交換

主な意見

- ・内牧地区の子どもや高齢者の割合について、他の地区と比較することで議論が深まる。
- ・各自治会がさまざまな活動を行っているので、確認する必要がある。
- ・子どもの支援の観点から、利用抽選後の空き部屋ではなく、常に固定して解放することも協議にあげても良い。
- ・市民センターを拠点とするには、駐車場が狭い。もう少し確保する必要がある。

第2回会議 11月21日(金)

協議事項

- ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して意見交換

主な意見

- ・高齢化と世帯当たり人口の減少により、地域のつながりづくりが重要。
- ・各自治会が行っている地域づくりの状況を把握した上で内牧地区全体の地域づくりにつなげていくことで、自治会支援やコミュニティの活性化になる。
- ・すでに自治会で行われている事業を、市民センターが重複して行う必要はない。

第3回会議 12月19日(金)

協議事項

- ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して意見交換

主な意見

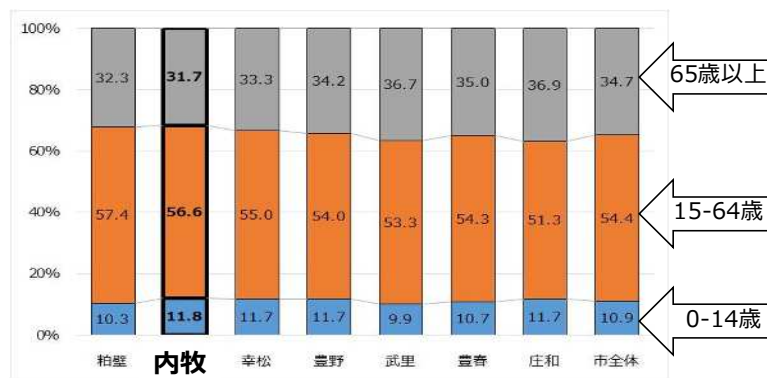
- ・既存の事業を中心に、各世代の交流、世代間の交流、内牧の特徴や健康維持、防災・防犯の視点を加味した実施方法等を検討。
- ・(仮称)地域づくりリーダーの創設など、担い手となる人財の確保・育成。
- ・自治会活動支援と加入促進で地域コミュニティの活性化を図る。
- ・各自治会が実施している地域づくり情報を、市民センターに集約し、内牧地区自治連内で共有する仕組みをつくる。
- ・自治会加入促進、地域づくり意識の醸成につながる情報発信。

令和8年3月25日(水)

令和7年度 第4回 内牧地区地域づくり推進協議会

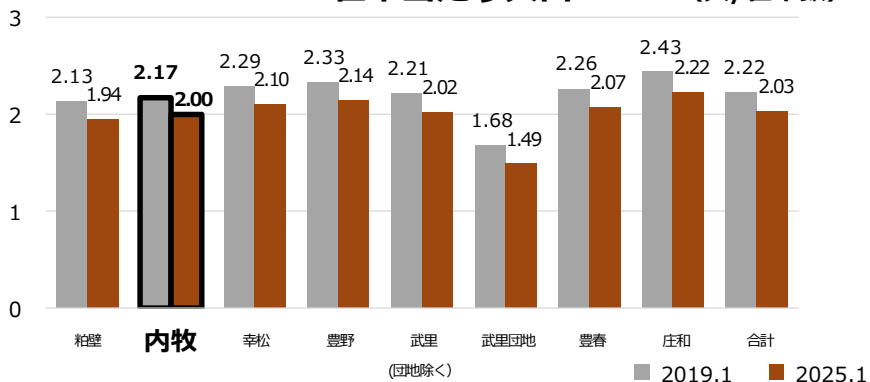
年齢3区分人口

2025.1



世帯当たり人口

(人/世帯数)



内牧市民センターを拠点とした地域づくりについて



地域の課題

- 高齢化の進展と世帯当たり人口の減少
→コミュニティの希薄化、地域内での孤立化の懸念



対 策

- 地域コミュニティの活性化を図る

つながりづくりによるコミュニティの活性化へむけて

既存事業の見直し

①

既存事業の強化

つながり（各世代の交流、世代間の交流）、健康維持、防災・防犯の要素をできるだけ加えて実施する

②

担い手の確保・育成

（仮称）地域づくりリーダーを創設し、持続可能なコミュニティ活動の担い手を確保・育成

自治会活動支援と自治会加入促進

①

情報共有の仕組みづくり

各自治会の活動情報を市民センターに集約し、地区全体で共有する仕組みを構築

②

効果的な加入促進

集約した情報を活用し、自治会への関心を高め、新規加入を促進する広報活動を展開

③

活動拠点の確保

地区自治会連合会の事務スペースを市民センター内に確保し、活動の連携を強化

令和8年度の進め方

- 効果的実施方法の検討
つながり、健康維持、防災防犯の要素をできるだけ加える
- 担い手の確保策の検討
（仮称）地域づくりリーダーの創設



- 各自治会活動等の情報の集約、共有する具体的な仕組みの検討
- 集約した情報の効果的活用方法、発信方法の検討
- 市民センター内への事務スペース確保など活動を円滑に進めるための体制や仕組みづくりの検討



検討を進め実現可能と判断された事項は順次実施